

八幡地区住民へのアンケート調査 結果概要

1 八幡地区住民へのアンケート調査の概要

(1) 調査の目的

八幡地域では、現在、(株)中国バスによる路線バス（御調線／「垣内バス停」から「みつぎ総合病院」方面）が運行されている。

しかしながら、その利用者は極めて少ない状況にあるため、今後、当該路線サービスの見直しを図ることが検討されている。

こうした現状を受け、現在の八幡地域における路線バス利用状況や、これからの生活移動手段の方策検討に向けた基礎資料を得るために、地域住民へのアンケート調査を実施した。

(2) 実施概要

アンケート調査の実施概要は、次の表のとおりである。

表 1 八幡地域住民アンケートの概要

項目	詳細
対象者	八幡地域に居住する 15 歳以上の方
サンプリングの方法	町内会を通じて、全世帯に配布 ※各世帯に、調査票を 2 枚配布
配布回収方法	町内会による配布・回収
調査実施時期	平成29年 3 月

2 配布・回収状況

調査票の配布は、八幡地区の全世帯である357世帯（各世帯2枚）に行った。

調査票の回収は、402件である。

そのため、（例えばひとり暮らし世帯など）世帯によっては調査対象となる人数が2人に満たない場合もあるものの、仮に母数を714人（357世帯×2人）とした場合の回収率は56.3%である。

表 2 配布・回収状況

配布世帯数 (a)	357世帯
配布枚数 (a × 2)	714件
回収件数 (b)	402件
回収率 (b) / (a × 2)	56.3%

3 調査結果

(1) 回答者の属性

○性別では、女性が若干多いものの、概ね半々より回答を得られている。
 ○年齢別では、60代が最も多く約4割で、また70代と80歳以上を合わせると約8割を占め、60代以上の回答が多い。

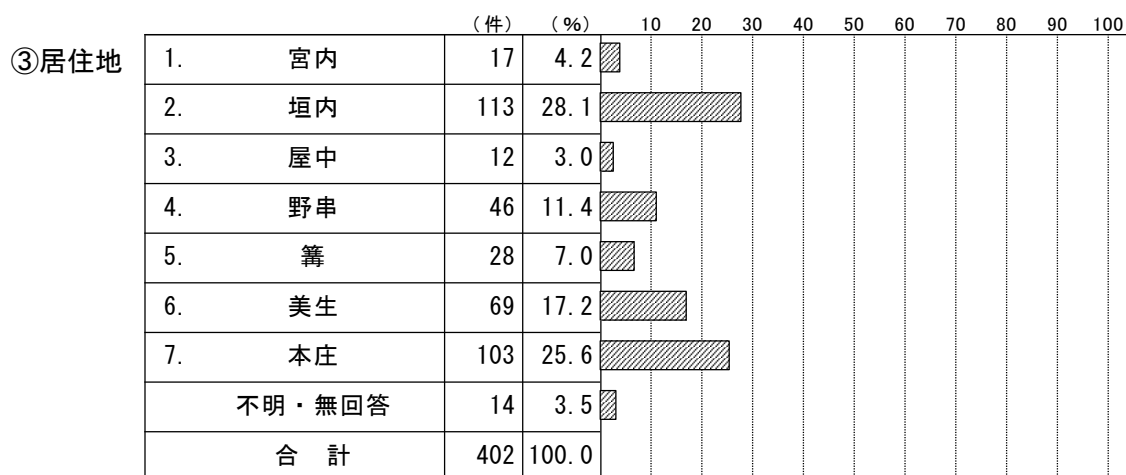
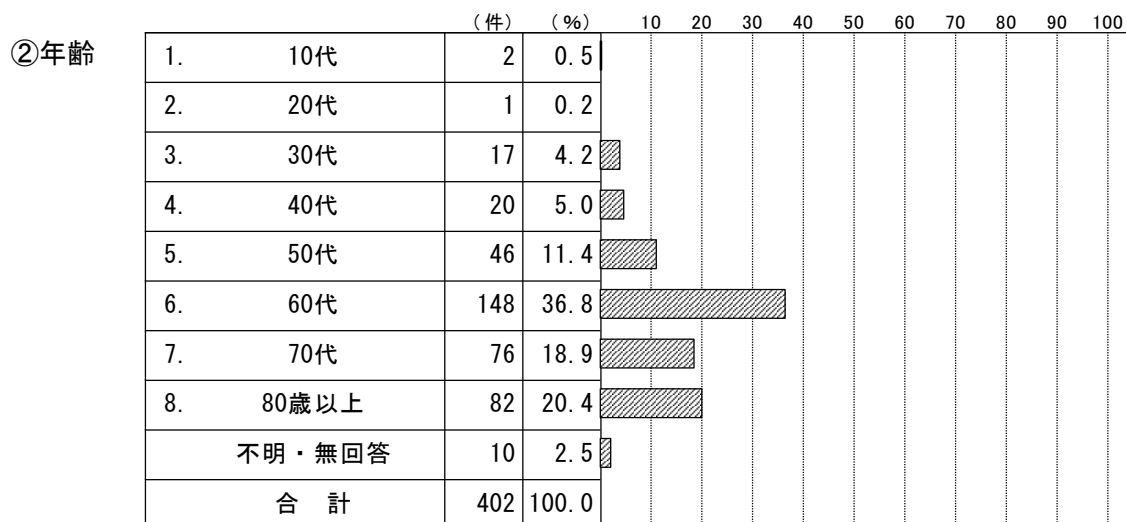
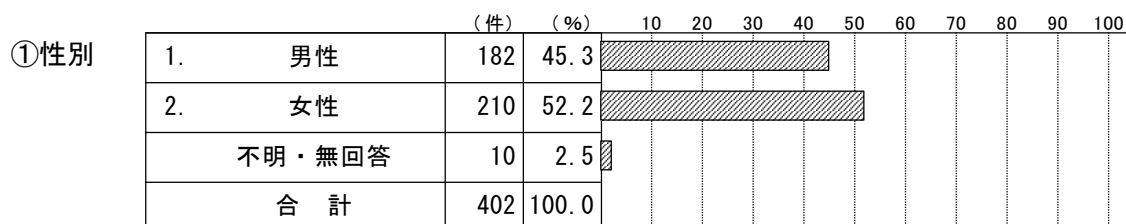
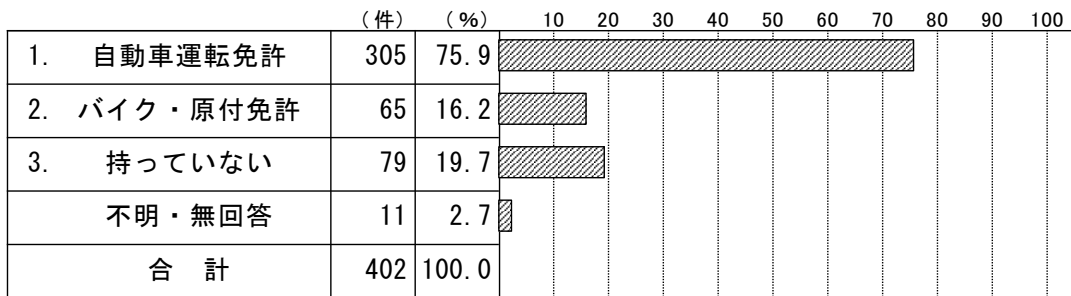


図 1 回答者の性別・年齢・居住地

○自動車運転免許を持つ方が多く、約 76%を占める。また、運転免許を全く持っていない人は、全体の約 2割である。

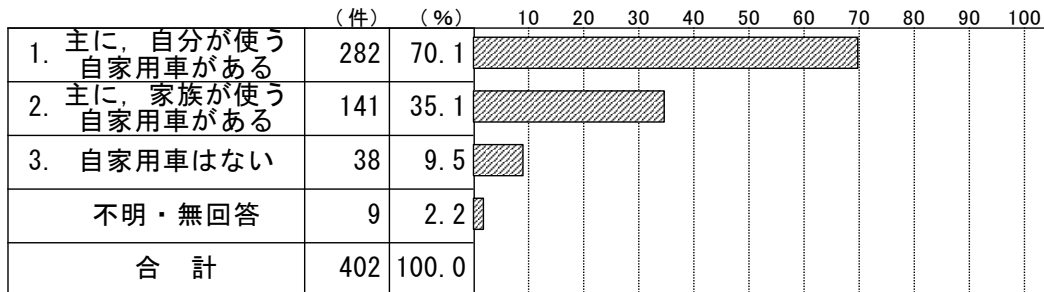
○世帯に自動車を保有していない回答者は全体の約 1割であり、大半の世帯で自動車を利用できる状況にある。

④運転免許



※複数回答

⑤世帯の自動車



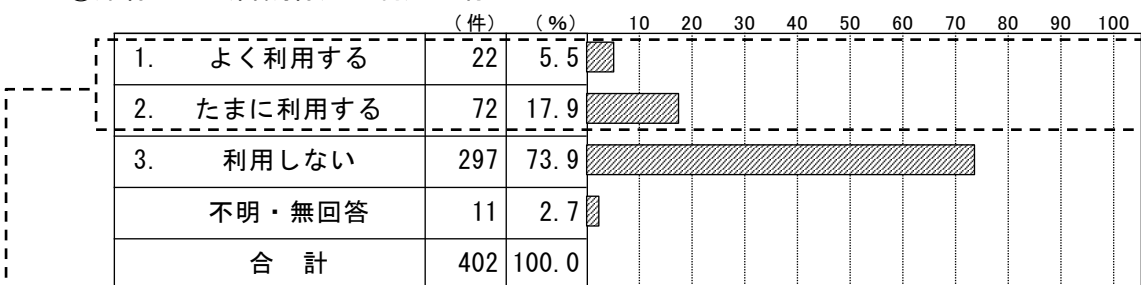
※複数回答

図 2 回答者の運転免許保有・自動車保有

(2) 路線バス（御調線）の利用について

- 路線バス（御調線）を利用する人は多くなく，回答者の約2割である。
- 利用者のうち，週に1回以上利用する人は約26%であり，逆に年に数回程度しか利用しない人は約半数を占める。

① 路線バス（御調線）の利用の有無



➡ ② 路線バス（御調線）の利用頻度（よく利用する，たまに利用すると回答した方のみ）

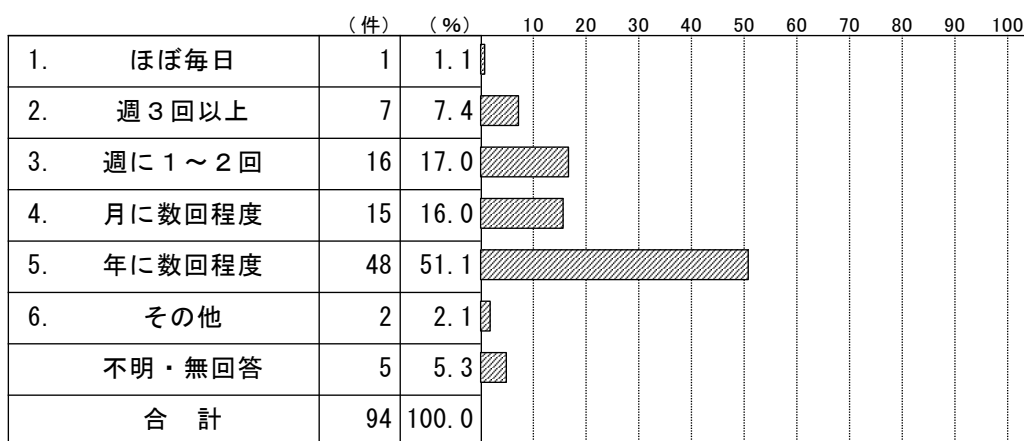
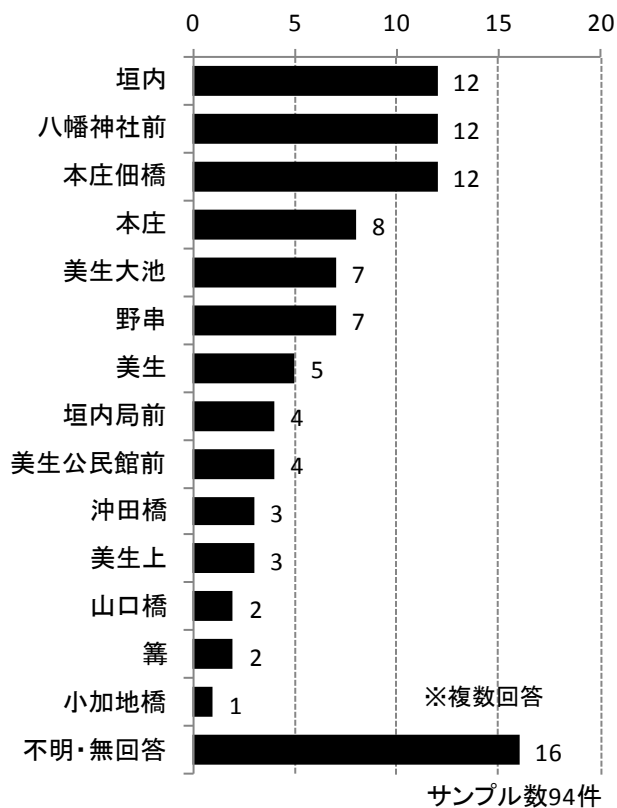


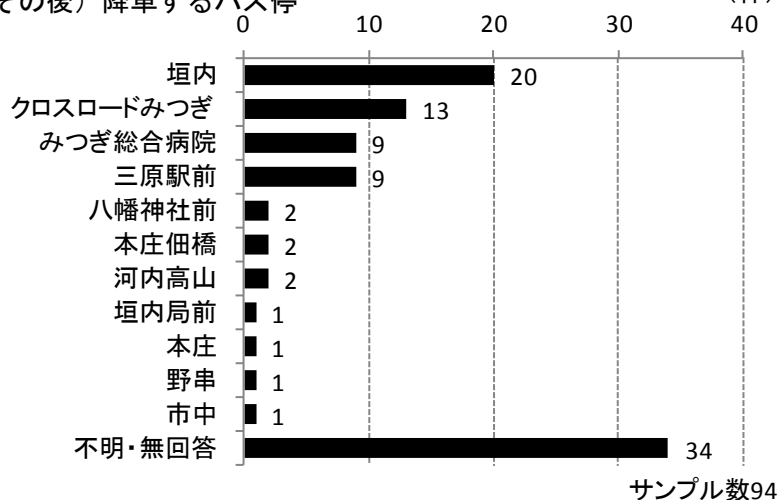
図3 路線バス（御調線）の利用の有無・利用頻度

③ (自宅を出発する時に) 乗車するバス停 (件)



※「宮内」と記入があったものは「八幡神社前」とした
不明:「フリーバスなので家の近く」(1件),「三口(美生大池と佃橋の間)」(1件)

④ (その後) 降車するバス停 (件)

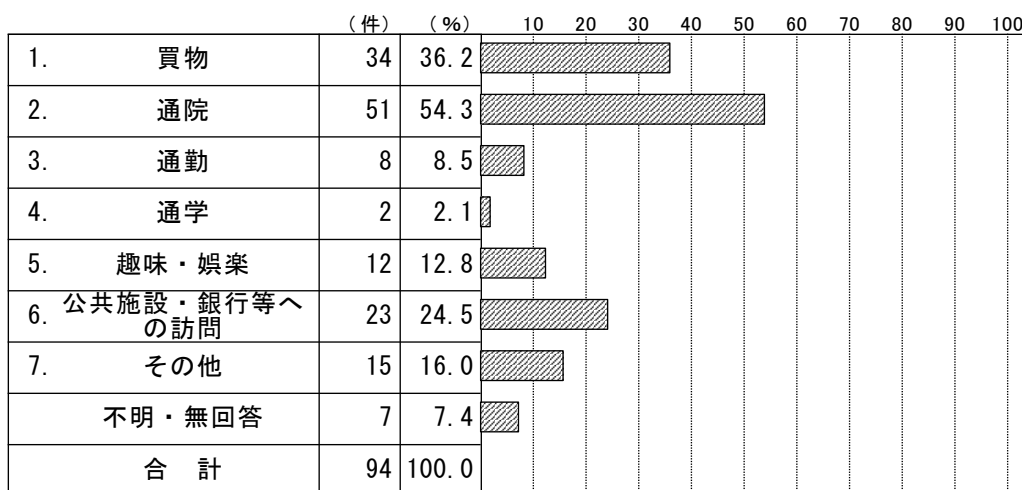


※「宮内」と記入があったものは「八幡神社前」に,「丸河南」は「河内高山」に,「市」は「市中」とした
不明:「病院」(2件),「中国バス」(1件),「フリーバスなので家の近く」(1件),「美生高田下」(1件)

図 4 利用するバス停(乗車・降車)

⑤バスを利用する目的

○路線バス（御調線）の利用目的では、通院が最も多く過半数を占め、次いで買物が多く約36%を占める。

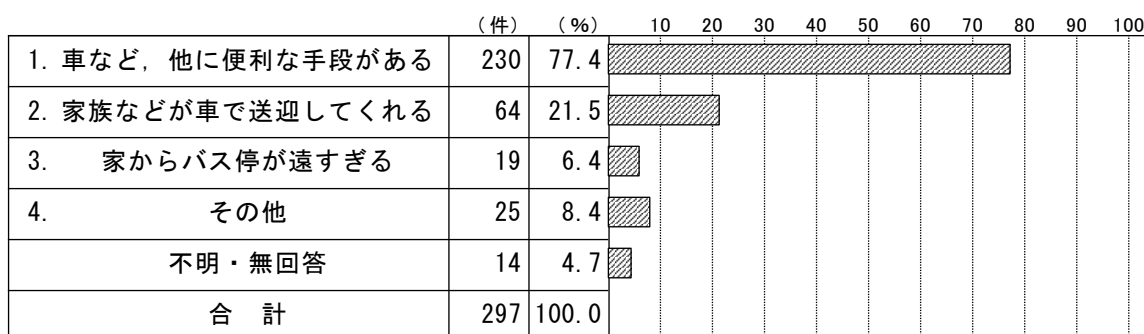


※複数回答

図 5 バスを利用する目的

⑥路線バス（御調線）を利用しない主な理由（利用しないと回答した方のみ）

○路線バス（御調線）を利用しない理由では、他に便利な手段があるが約8割を占めて最も多い。



※複数回答

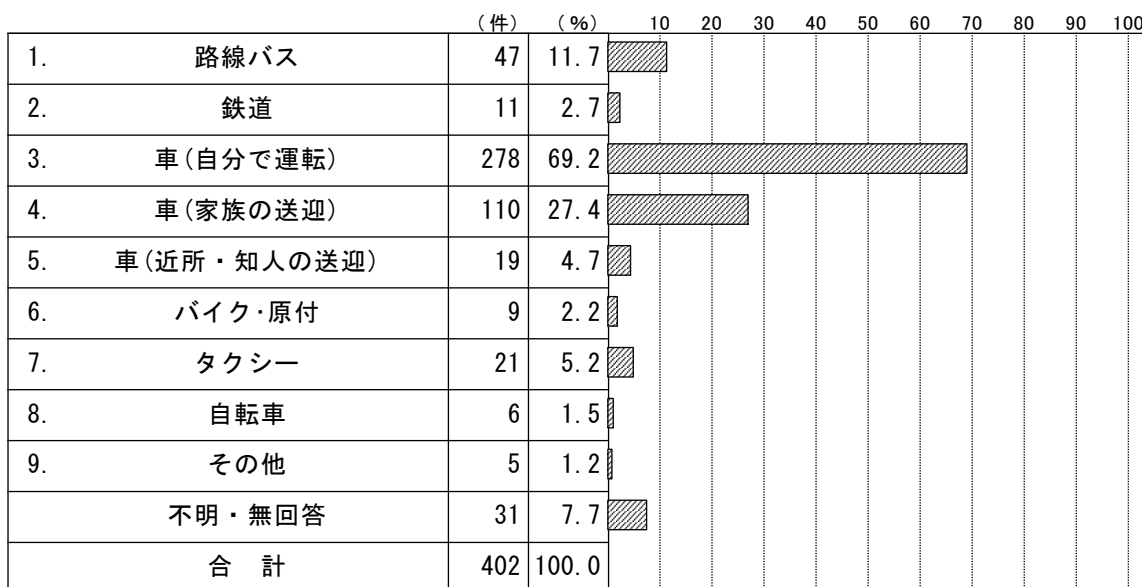
図 6 路線バス（御調線）を利用しない主な理由

(3) 普段の生活の移動手段について

○普段の移動手段は、車（自分で運転）が約7割、車（家族の送迎）が約3割と、車利用が一般的なライフスタイルになっている。

○移動手段で「困っている」のは回答者の約2割であり、特に路線バスや、タクシーを利用される方が、困っている割合が高い。

① 普段の生活で、どのような移動手段を利用することが多いか



※複数回答

図 7 路線バスの利用頻度

② 普段移動手段がなくて困ること

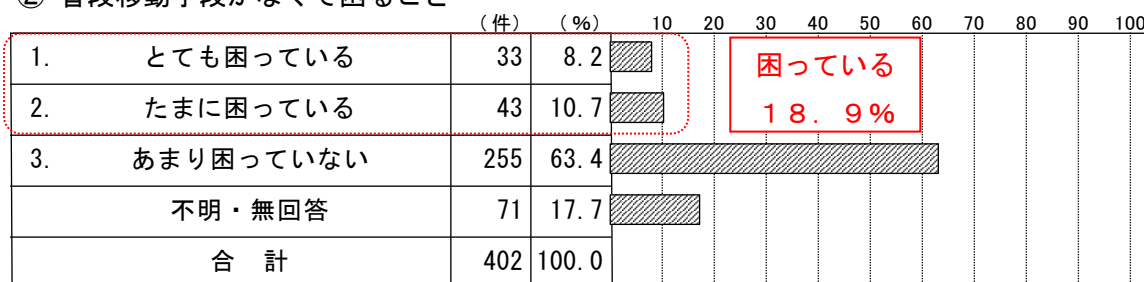


図 8 移動手段がなくて困ることの有無

<普段の交通手段×移動手段がなくて困ること>

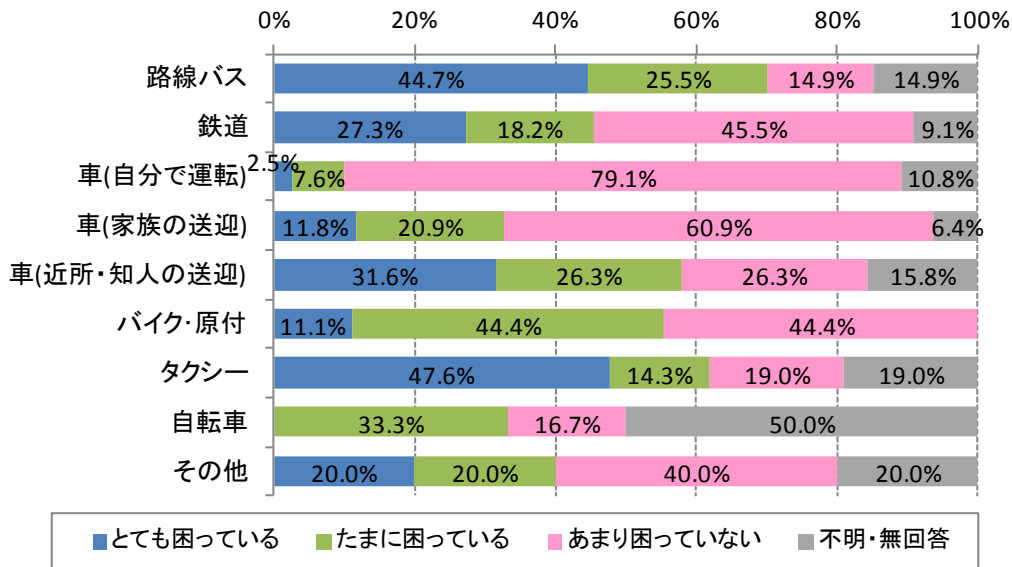


図 9 普段の交通手段×移動手段がなくて困ること

(4) 困っている内容・理由（とても困っている，たまに困っていると回答した方のみ）

○困っている内容では、「便が少ない・乗りたい時間がない」が多く、路線バスに対する意見と考えられる。また家族の送迎に関して困る内容も比較的多い。

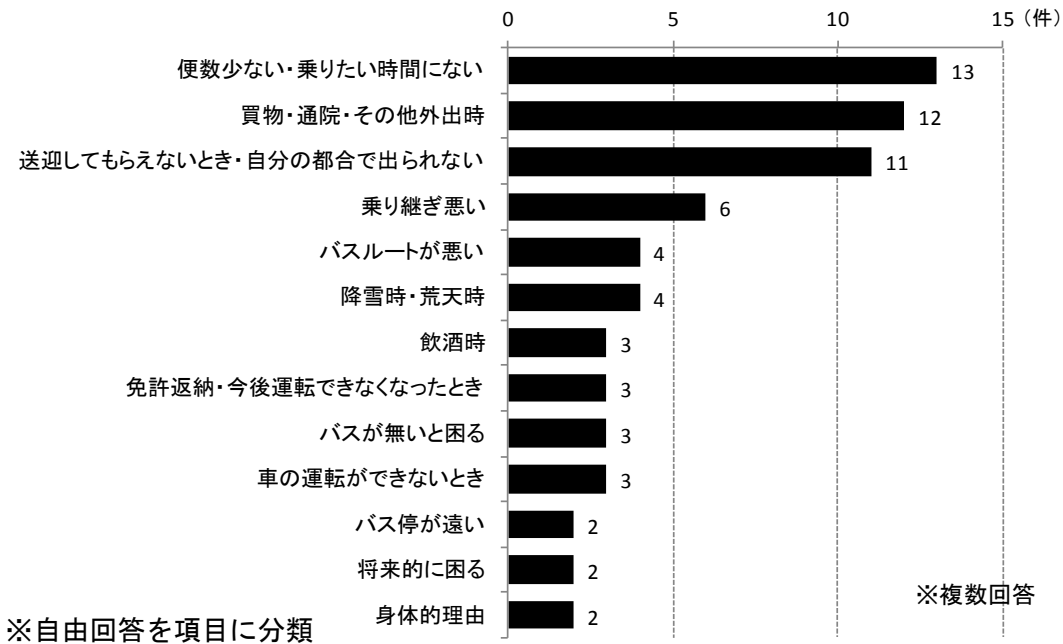


図 10 困っている内容

(5) 利用者が少ない地域で運行する公共交通サービスについて

①乗合タクシーが導入された場合の利用意向

○新しい公共交通を導入した場合、「路線バスと同じようなルートでも利用する」と回答した方は約13%で、「自宅近くを通るようになれば利用する」、「近い将来に利用すると思う」と合わせると約半数を占める。

○性別では女性の方が若干利用意向は高く、また年齢別では年齢が上がるほど利用意向が高くなる傾向がある。

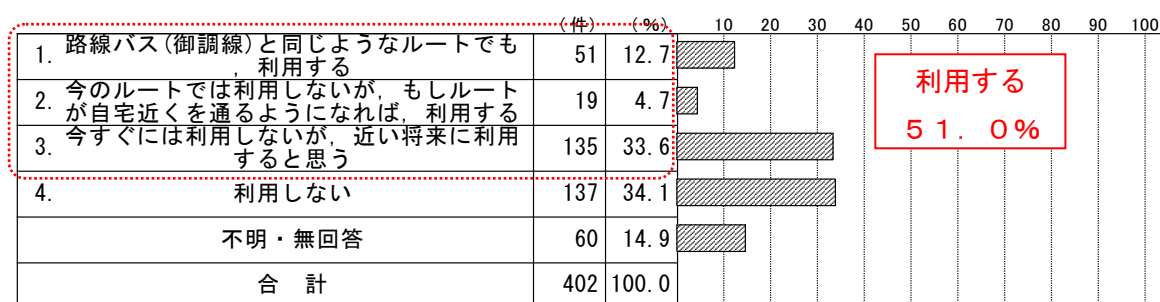


図 11 乗合タクシーが導入された場合の利用意向

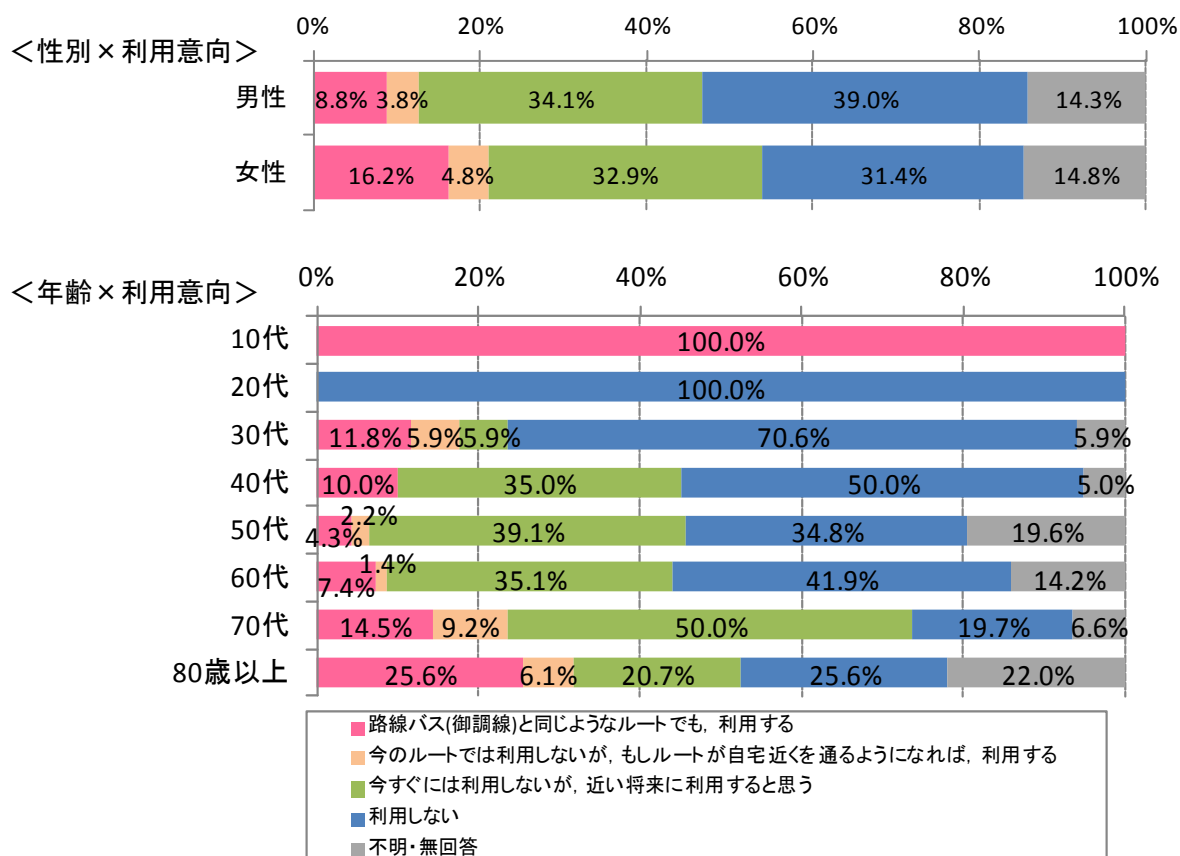


図 12 性別・年齢別の利用意向

【以下より、乗合タクシーを利用する意向のある方のみ回答（「利用しない」を除く）】

②導入された場合の利用頻度

○利用頻度の見込みでは、月に数回程度が約 36%を占める。また週に 1 回以上をまとめると約 34%である。
 ○乗合タクシーの利用頻度の見込みは、先述した路線バス（御調線）の利用頻度よりも多い傾向にある。

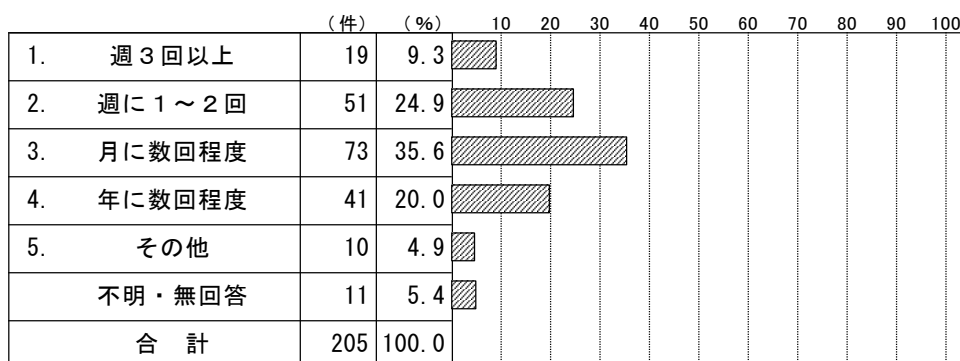


図 13 利用頻度

③“乗合タクシー”を利用して行きたい八幡町内や御調町内の施設

○行きたい行き先では、みつぎ総合病院が最も多い。また、買物先としては、三谷屋、Aコープなどが多く、その他に垣内バス停も比較的多い。

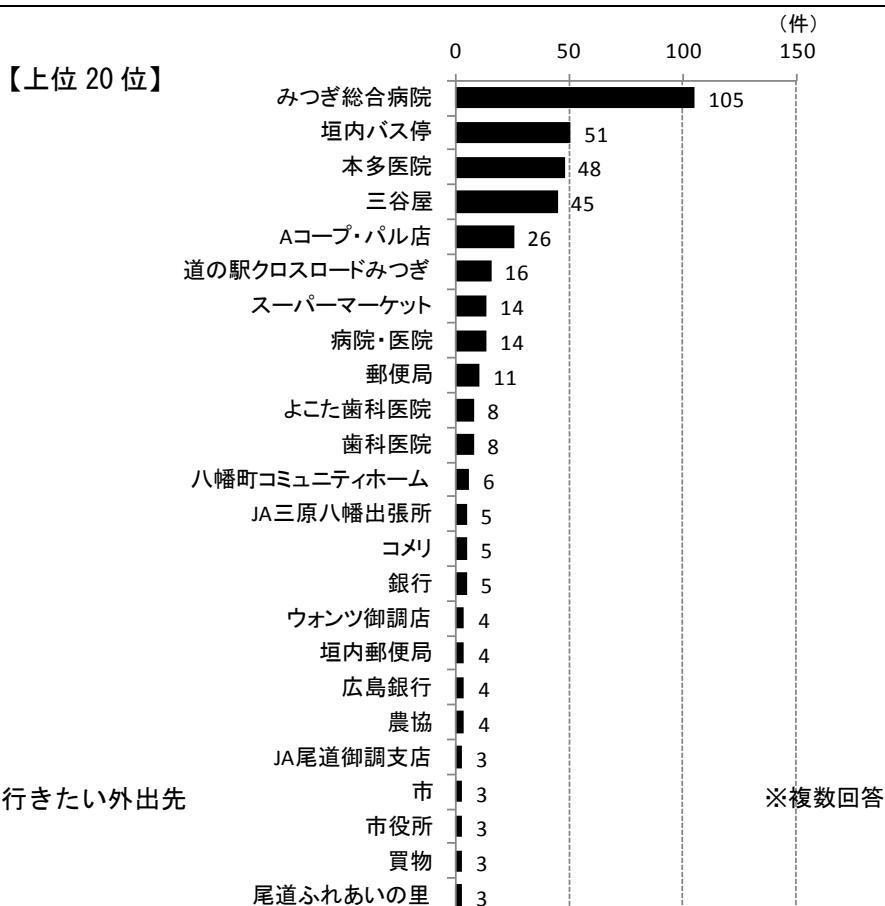


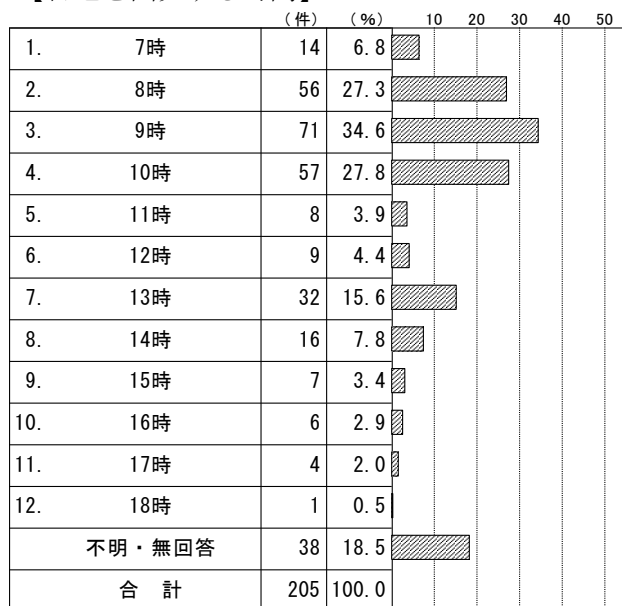
図 14 行きたい外出先

④利用しやすいサービス内容

- 行きは8時～10時、帰りは11時～18時頃の利用が期待できる。
- 曜日は、月曜日、水曜日、金曜日の回答が比較的多い。
- 運行方式は、定時・定路線の希望が、予約式・区域運行よりも若干多い。

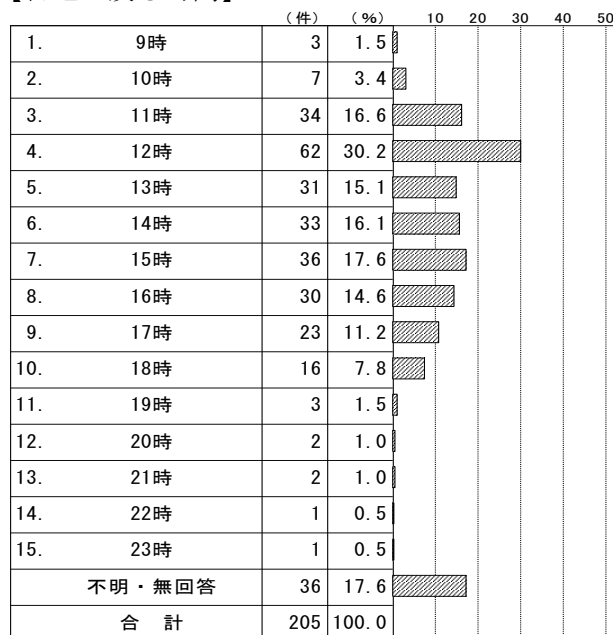
ア) 利用しやすい時間（出発・帰宅）

【自宅を出発する時間】



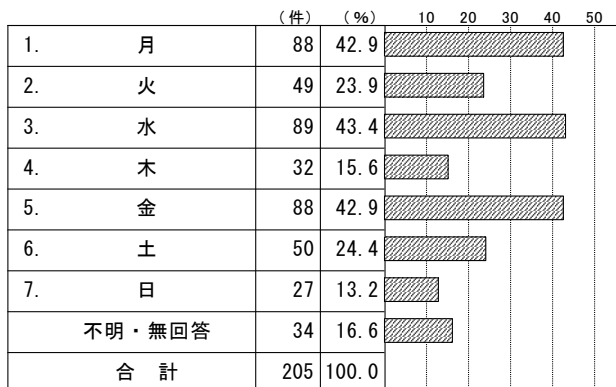
【自宅に戻る時間】

※複数回答



イ) 利用しやすい曜日

※複数回答



ウ) 利用しやすい運行方式

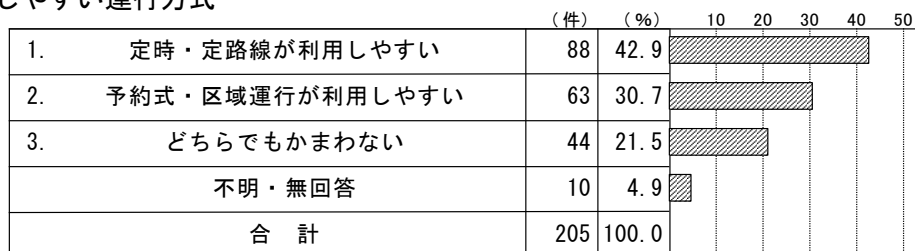


図 15 利用しやすいサービス内容